２０２７ 年度　静岡赤十字病院　（病床数　411）【1年次】

受入人数	【1年次】1名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	300,000		年約2.8ヶ月		有	有	平日8:30～17:00	10		3	有	3～4回	無（家賃補助あり）	社会保険、厚生年金、雇用保険、労働保険

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	6ヶ月を通して指導医の担当した感染症・腎臓病・心臓病・内分泌代謝疾患などコモンディジーズの患者（1人あたり6～10名）全てについて、指導医の監視下に主体的に診断・治療計画を立て実際にオーダーする。一般内科と並行して各専門内科（呼吸器・循環器・消化器・神経内科・内分泌・膠原病・血液・腎臓）を1ヶ月ごとローテーションし、各専門内科の指導医とともに6～8名ずつの典型的患者を担当する。
救急科	1～3次対応の救命救急センターを中心に、常駐する救急科医師とマンツーマンで日勤帯の救急外来受診・救急車搬送に対応する。各科オンコール医師のサポートがある。救急科専従医師とともに入院管理も行う。救急患者総数10,106人 一日平均受診者数27.7人　救急車取扱件数5,145件（R7年度実績）
外科	3ヶ月の研修期間を通して、消化器外科、乳腺外科、血管外科、呼吸器外科の症例を担当する。常時5～10名の担当患者を受け持ち、術前から退院まで担当チームの一員として加療に当たる。原則として担当患者の手術に入り、第2または第1助手を務める。 3次救急病院であり、初期対応から手術、術後管理まで積極的に関与してもらう。
小児科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
産婦人科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
一般外来	各指導医の管理下のもと、内科にて月に5～6回、外科にて月に4～5回の一般外来研修を行う。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
必修科目にて研修をお願い致します。

○研修アピール
静岡市の中心部に位置する当院は、年間で約10,100人の救急患者を受入れる地域の基幹病院であり、ほとんど全ての急性期疾患及び亜急性期疾患の診療を行っています。特に平成4年に開設された救命救急センターでは、24時間体制で1次～3次までの救急患者を受入れ、幅広い症例を経験できることから、臨床研修を行う上でも、望ましい環境です。 現在、当院の初期臨床研修医は、1年次生13名、2年次生12名が在籍し研鑽を積んでいます。屋根瓦方式の教育体制で指導医から細やかなフィードバックがあります。またコメディカルなどが研修医に好意的で研修しやすい環境、病院の雰囲気があります。

○研修医からのメッセージ
当院は、1～3次救急病院であり、幅広い疾患を経験できる病院です。1年次の研修は忙しいですが、必ず3人以上のチームで診療するため、指導医からの細やかなフィードバックがあり充実した研修を受けることができます。診療以外に、研修医向けのレクチャーも充実しており、院内だけでなく各分野の著名な先生を招いたセミナー・講演会もあります。病院内でのBLS、ACLS講習なども積極的に行われています。病院の雰囲気も大変良く、コメディカルなどのスタッフがとても親切です。研修医の数もちょうど良く、大変働きやすいです。当院は、医師として、また社会人として必要なことをバランス良く身につけることができる病院だと思います。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　副院長　久保田英司

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：総務企画課　大井

住所：　静岡市葵区追手町8-2

TEL：　054-254-4311

E-mail :kensyu@shizuoka-med.jrc.or.jp

２０２７ 年度　静岡赤十字病院　（病床数　411）【２年次】

受入人数	【2年次】1名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤		350,000		年約4.0ヶ月	有	有	平日8:30～17:00		11	3	有	4～5回	無（家賃補助あり）	社会保険、厚生年金、雇用保険、労働保険

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修（在宅を含む）	西伊豆健育会病院・城西クリニックにて在宅医療、臨終の立ち会い、チーム医療、在宅診療などを経験する。
一般外来	指導医の管理下のもと、小児科にて月に3～4回の一般外来研修を行う。
外科	1年目に慶應義塾大学病院で研修する。
小児科	一般小児科部門は開業医の先生からの紹介、救急外来での対応を中心に喘息、肺炎等の呼吸器疾患、けいれん重積やてんかん等の神経疾患など頻度の高い疾患を経験できる。新生児部門は年間約350人の当院産科で出生される児を中心に、「在胎36週以降、出生体重2000g以上の児」に対応している。アレルギーのお子さん、低身長のお子さんに対する医療を積極的に行っているため、この方面の子どもたちの問題を広く経験することができる。
産婦人科	周産期、婦人科（腹腔鏡下手術、良性/悪性腫瘍手術）、不妊治療（人工授精）、女性医学（ホルモン療法/更年期医学）の診療に当たっており、偏りのない研修が可能。分娩や帝王切開、新生児の取り扱いを現場でリアルタイムに経験すること、手術では第一/二助手として、指導医の元、様々な手術手技を実践することを求められる。2ヶ月連続でのローテーションを原則とする。
精神科	当院の精神科にて外来を中心に2週間、市内にある静岡県立こころの医療センターにて病棟を中心に2週間の研修を行う。当院ではリエゾン診療や精神科のプライマリケアを学ぶ。
麻酔科	麻酔科管理症例 約3100例（全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、神経ブロック症例を含む） 研修期間1ヶ月では気管挿管、脊髄くも膜下穿刺、動脈ライン確保等の手技を指導する。 2ヶ月以上選択する研修医にはエコーを用いた中心静脈穿刺などを指導する。

○ 研修のアピール

静岡市の中心部に位置する当院は、年間で約10,100人の救急患者を受入れる地域の基幹病院であり、ほとんど全ての急性期疾患及び亜急性期疾患の診療を行っています。特に平成4年に開設された救命救急センターでは、24時間体制で1次～3次までの救急患者を受入れ、幅広い症例を経験できることから、臨床研修を行う上でも、望ましい環境です。　現在、当院の初期臨床研修医は、1年次生13名、2年次生12名が在籍し研鑽を積んでいます。屋根瓦方式の教育体制で指導医から細やかなフィードバックがあります。またコメディカルなどが研修医に好意的で研修しやすい環境、病院の雰囲気があります。病院内部の先生方による研修医向けのレクチャーが充実しており、臨床研修分野で有名な外部の講師を招いた臨床研修セミナー・講習会も行われています。2016年に新病院が完成しました。8階建ての1号館は外来中心、10階建ての3号館は病棟中心です。救急医療の充実を図り、救命救急センター併設の救急外来が旧館の1.7倍、救急病棟も3倍の面積となりました。

○ 選択科目について（選択できる診療科）

備考				

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

研修実施責任者　副院長　久保田英司

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：総務企画課　大井

住所：　静岡市葵区追手町8-2

TEL：　054-254-4311

E-mail :kensyu@shizuoka-med.jrc.or.jp